



リアルタイム社会相互作用システム（RETSIS）

Finda Putri

Leonardo Zapata-Fonseca, Sébastien Leriche, Stephen Estelle,

Shannon Hayashi, Tae Morrissey, Tom Froese

身体性認知科学ユニット

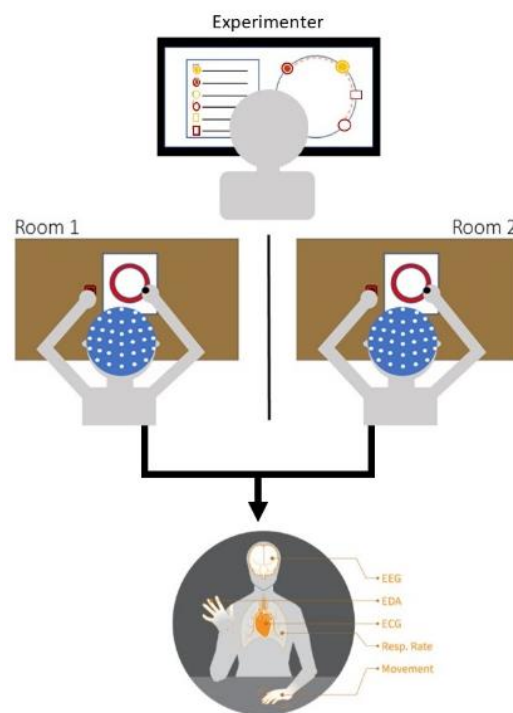
取り組んでいる課題

多くの精神疾患は社会的行動の障害を伴います。相互作用のパターンのわずかな逸脱に基づいてこれらの状態を特定するために、研究者たちはリアルタイムの相互作用状況下における社会的相互作用ダイナミクスを研究し始めています。しかし、特にデジタルを介した社会的相互作用研究においては、これらの逸脱の探索に役立つ信頼性の高い脳に基づく特徴がこれまで存在していませんでした。

私たちの解決策

我々は、知覚交差実験（PCE）の理論的枠組を基に、リアルタイム社会的相互作用システム（RETSIS）というコンピュータ・インターフェースを開発しました。PCE は、一組の被験者が最小限の共有仮想空間で行う身体化された社会的相互作用のダイナミクスを記録するもので、仮想オブジェクトとの接触に関するバイナリ触覚フィードバックのみが提示されます。これまでの PCE 研究では、行動データとユーザー体験のみが測定されていましたが、RETSIS は、脳波ハイパースキャンニング（複数人からの同時記録を可能にする脳イメージング手法）と統合された方法により、高解像度 PCE を可能にします。さらに、心拍数や呼吸数、皮膚伝導率も測定できます。

RETSIS は、2 人の相互作用する個人の脳の特徴、特に共同行動と共有された対象経験に関連するものを明らかにし、精神疾患におけるその逸脱を示すことができると期待されています。



PCE-脳波ハイパースキャンニング実験セットアップ

その他のリソース

- [RETSIS 発行](#)
- [ユニット出版リスト](#)
- [ユニットウェブサイト](#)

SDGs への貢献



キーワード： 身体化認知、社会的相互作用、脳波ハイパースキャンニング

詳細はこちら：

tds@oist.jp